

TOKYO MOVING  
ROUND

# 東京感動線

Magazine

2020 Autumn

Vol.5.5

Supported by  
Discover.Japan

ver.Yoyogi / Harajuku

続く、つながる。  
自然と人の二〇〇年

TAKE  
FREE

見守りながら次の世代へ

# 「鎮守の杜」の

## 番人が語る

### 次の一〇〇年

綿密にデザインされた  
天然更新される杜

JR原宿駅からの南参道、代々木駅のほど近くから入れる北参道。明治天皇と昭憲皇太后を御祭神とする明治神宮は2020年、鎮座100年を迎えている。参道を歩けば、周囲の杜の重厚さに、しばし心を奪われるだろう。

「まるで深山に入ったような気分になるでしょう。この杜は、あたかも古くから存在していたように見えますが、実は人工林です。そう話すのは、明治神宮の林苑主幹を務める松井正さん。約70ヘクタール、東京ドーム15個分の面積を有する鎮守の杜の番人だ。この

杜は、いまから約100年前、全国からの約10万本に及ぶ献木と、延べ11万人による青年の奉仕でつくり上げられたという。林学の草分けであった本多静六、本郷高德、上原敬二が中心になり、杜の造営計画が練られた。その計画は自然の遷移を考慮した、画期的なプランだったという。

「大切にしたのは、風土に合った杜にすること。周囲から害されず、健全に育ち、木々が世代交代を重ねていく。人の手を介さず、杜が自ら、天然更新ができるよう、植生を計画したんです」

関東の乾燥しがちな土壌や都心のゆえの煙害に強く、もともとこの地に生息していた檜、椎、楠などの常緑広葉樹を下木に、上木には松などの針葉樹を植えた。時を経て広葉樹が育つと、自然とそれらが主木に入れ替わる。

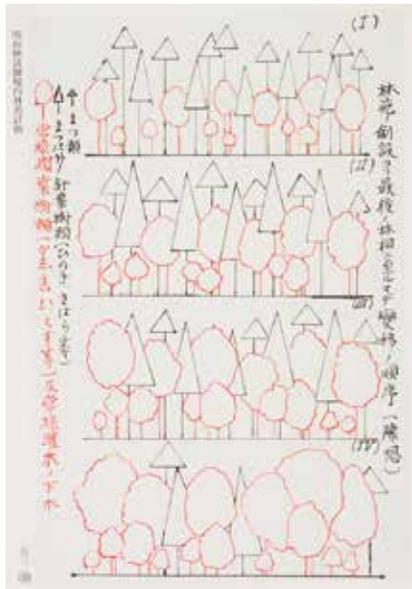
杜の林相(成長の様子)を把握するため、現在までに二度の毎木調査が行われた。1970年の調査では、約300種、16万8千本あった樹木が、2011年からはじまった調査では234種、3万6千本に。そのうち5千本あった針葉樹は3分の1に減り、広葉樹類は増加。全体の樹木数は減っているが、樹木の生育と淘汰により、杜の規模は拡大。当初思い描いたかたちへと、杜は成長したのだ。



明治神宮

### サステイナブルな杜に必要な心掛けとは

松井さんに、杜の維持に必要な姿勢をたずねると意外な答えが。「維持ではなく、杜に任せる。見守りの姿勢が必要です。参拝者の安全のため、最低限の管理はしますが、基本的には手を加えません。参道の清掃で集めた落ち葉も杜に返す。この杜は、ゴミさえ出ないのです。落ち葉や倒木は、土壌生物や菌類が分解し、有機物から無機物へ。それが木々の養分として吸い上げられていく。非常に大きな循環の世界の中に私たちはいるのです。この森林生態系そのものがサステイナブルなのです」。



上) 杜の成長を記した林相予想図は、造園家の本郷高德が執筆。赤色で描かれているのが広葉樹、そのほかは針葉樹。4つの段階を経て、造営時に主木だった針葉樹が、広葉樹に圧倒され、関東の風土に合った林相に変わるよう入念に計画されていた。下) 参道の上に伸びた木の枝は、日の光を適度に遮り、参拝者を厳かな気持ちにさせてくれる。参道に落ちそうな枝は伐採することも。参拝者の安全確保も、彼ら杜の番人による日々の仕事だ



明治神宮 林苑主幹 松井 正さん  
林野庁の支部にあたる中部森林管理局 東信森林管理署署長を経て現職。「明治神宮の杜を永遠の杜へ。かないませんが、いまから100年後の杜も見てみたいです」

# 鎮座一〇〇〇年の節目を愉しむ 森のさまざまな「仕掛け」

今年、創建1000年を迎える明治神宮では、さまざまな催しが展開されている。特に鎮守の杜では、現代アートの展示など、明治神宮はじまって以来の試みも。「伝統と革新」をテーマにする明治神宮には、新しい挑戦を取り入れる気風があふれているのです」と、野外彫刻展をプロデュースした芸術監督の山口裕美さんは話す。そのほか、正参道には、近代日本の礎を築いた明治時代と、明治天皇にゆかりのあるパネル展示も。明治神宮のこれまでと、これからの歩みを学べる機会となるはずだ。

鎮守の杜に設置された野外彫刻展「天空海闊」では4作品を展示（写真1・2・3・4）。1) 松山智一の作品。神の使いである鹿の角と、銅鏡に見立てた車のホイールを織り合わせた。2) 明治神宮ミュージアムの入口を彩る、名和晃平の作品。石巻にあるWhite Deerシリーズのひとつ。3) 三沢厚彦の作品。楠の木立に立つ白虎が見つめる先には、清正井（きよまさのいど）が。4) 明治神宮の御祭神である明治天皇の愛馬「金華山号」を切り取った船井美佐の作品。5) CAFÉ「杜のテラス」は、循環と再生がコンセプト。店内には、杜の枯損木を使った家具も。6) 展示パネル「永遠の杜のものがたり」からは、御祭神の聖徳と杜の造営に関わった先人の情熱を知ることができる

代々木駅・原宿駅

2020/10/23(金)～11/8(日)  
代々木原宿  
とっておきの自然フォトコン

あなたのとっておきの「自然」を教えてください。InstagramまたはTwitterに「#代々木原宿とっておきの自然」を付けて写真を投稿していただく抽選で素敵なプレゼントが当たります

詳しくは、東京感動線公式Facebookをご覧ください

DATA

明治神宮

住所：東京都渋谷区代々木神園町1-1  
Tel：03-3379-5511 www.meijijingu.or.jp

参拝時間：1月6:40～16:20 / 2月6:20～16:50 / 3月5:40～17:20 / 4月5:10～17:50 / 5月5:00～18:10 / 6月5:00～18:30 / 7月5:00～18:20 / 8月5:00～18:00 / 9月5:20～17:20 / 10月5:40～16:40 / 11月6:10～16:10 / 12月6:40～16:00  
※月により時間が異なるのは日の出とともに開門し、日の入りに合わせて閉門するため



## 寄り添うように走る鉄道が 森の誕生に深く関わった

明治神宮の造営時に全国から集められた献木。これらの運搬方法は？ 実は、その多くが鉄道で運ばれたという。現在よりも200mほど北にあった旧原宿駅から、北参道に向け2本の引き込み線を設置。大木を含む献木は、次々とこの引き込み線から境内まで輸送された。ちなみに、運搬にかかる汽車賃は半額になったという。

荒野の旧原宿駅周辺。明治神宮の鎮座後、原宿駅は現在の場所に移動した。昭憲皇太后が崩御された際も、代々木公園の葬場殿仮停車場から旧原宿駅まで引き込み線が設けられた



column  
02

## 時代を振り返るとわかる 日本人と自然との近い距離

江戸時代に広がっていた大名屋敷や緑地の多くは東京の近代化とともに失われたが、海辺に近い竹芝周辺の浜離宮などはそのまま残された。明治時代にはパリを模した都市計画の中で芝公園などの公園が都心の随所に整備された。明治神宮の鎮守の杜もまたその流れといえるのかもしれない。くしくも明治神宮にある、清正井を水源にもつ渋谷川は、芝公園の近くを流れ海へと注ぐ。日本人の自然崇拝のひとつの現れ方が都市の形成に影響を与えているのだろうか

人がつくり、受け継がれる明治神宮の杜。同様に人の手によって息を吹き返す自然がある。たとえば渋谷川。清正井の水脈を支流のひとつとするこの川は、渋谷では暗渠となり港区の天現寺橋からは古川と名を変え、竹芝から東京湾に流れ込む。近年再開発により、暗渠の一部が剥がされ、駅と商業施設がゆるやかにつながった。日本人と自然には切り離せない絆があるのだ。





## ウォーターズ竹芝

## NPO法人 響

「東京都の絶滅危惧種に指定されているアベハゼや、ミミズハゼが生息しているんです」と話すのは、JR東日本の小林大祐さん。今年8月にグランドオープンを迎えた「ウォーターズ竹芝」は、劇団四季の新劇場やアトレ、シテイホテルなどが入居する複合商業施設。主にシアター棟とタワー棟からなり、その間をつなぐ広場からは水辺と浜離宮の緑を見渡せる。中でも特徴的なのは、船着場の横に整備された干潟だ。ここでは、JR東日本が中心となり、国立大学との産学共同で実現した水質・環境調査を実施している。

「干潟は、周辺に生息する魚類や貝類、甲殻類など多様な生物のよりのところとなるほか、水中の有機物の分解を行うなど、海水の浄化にも大きな役割を果たしています。かつて東京湾にあった干潟の多くが、埋め立てにより失われましたが、ここからまた、一歩ずつ。豊かな江戸前の環境を取り戻すきっかけにして



**DATA**  
 ウォーターズ竹芝  
 住所：東京都港区  
 海岸1-10-30  
 営業時間：11:00～22:00  
 ※施設により異なる  
 定休日：不定休  
<https://waters-takeshiba.jp>

# 水辺から東京が変わる 次の豊かさを生み出すまち

「いきたい」と、小林さん。ウォーターズ竹芝で過ごす時間も従来の商業施設とは一線を画す。アトレ初の駅外出店ということもあり、物販だけでなく、ウォーターズ竹芝で行える「体験」に焦点を当てた。「先ほどの干潟の豊かな自然環境をはじめ、劇団四季の公演や、ダンスやピリヤード、出会いと対話でつながりダイバーシティを体感するミュージアム、劇場型コミュニティスペースなど、まさに大人の集いの場といえるでしょう。訪れた人が思い思いの時間を過ごせる場所として、多様なアクティビティや文化が生まれる環境を創出し、豊かさの概念が多様化する時代にも、自然と心がうるおうちと時を提供します」。

# 「人」を育てていく 森を受け継ぐための基盤

「明治神宮の杜は、若者の奉仕でできました」と話すのは、「NPO法人 響」の事務局長を務める井梅江美さん。明治神宮の鎮座80年を機に発足したこの団体に、当初から関わっている。

主な活動は、境内での水田耕作やどんぐりの育成だが、これは響だけに許された活動だ。毎春、市民から参加メンバーを募っている。「たんばは、代々木の杜神饌田と呼ばれる、鎮守の杜に倣い、無農薬・手作りで育てています。御田植祭など伝統祭事を行いながら、収穫した米は明治神宮に奉納します。また、杜で採取したどんぐりを育て、全国の植林活動に提供も」

しかし響の活動は、環境保全だけでなくではない。1世紀続く杜が育んだ歴史や、それに関わった人々の想いを受け継ぐための人づくり、そこそが響のミッションだ。

「何もなかったこの土地に杜を築くのは、まさに国民一丸となったプロジェクトだったでしょう。当時の人々の共通の想いは、永遠に続く森を創ること。自然の恩恵



**DATA**  
 NPO法人 響  
 住所：東京都渋谷区  
 代々木神園町1-1 明治神宮会館内  
 Tel: 03-3379-5835  
[www.npohibiki.com](http://www.npohibiki.com)

にあずかり、自然と人の在り方について学ぶことは、永遠の森を受け継ぐ土台となります」と、井梅さん。さらに、どんぐりのプロジェクトは、月2回の草取りや、苗木が育つまでの一定期間、家庭で育てる里親制度もある。特別な園芸知識は必要なく、愛情をもって日々の水やりと日光の調整を行うのがコツだという。

「苗木の種は、明治神宮の杜をつくった先人たちの軌跡です。この杜をつくった方々の無形の想いを、実際の栽培を通して学んでほしい。こうした取り組みの中から、先人たちの思想を絶やさず、引き継ぎ、生かせる人材が増えていくと信じています」。



上／俳優という異色の経験をもつ猿田彦珈琲代表の大塚朝之さん。情熱と論理的思考が同居している。中／内装は、代表・大塚さんの友人でもあるSUPPOSE DESIGN OFFICEの谷尻誠さんが担当。小津安二郎の世界観をベースにした現代的な和の空間。下／写真はThe Bridge原宿駅店の開店を記念して、JR原宿駅と猿田彦珈琲のスタッフが共同で開発した「原宿ブレンド」。ほのかな酸味のある深煎りで、コーヒー初心者にもおすすめ。

たった一杯で幸せになれるコーヒーを。今年3月に、リニューアルオープンした「猿田彦珈琲」での2階にある「猿田彦珈琲」でいただけるのは、豆や産地を厳選したスペシャルティコーヒーだ。「コーヒー豆は山の上と下で品質が変わる。従来は、機械化が容易だったこともあり、低標高のコーヒーが主流でしたが、近年、標高が高い地域の豆のほうが、気候に恵まれて品質が高く、人気になりました。小さな事業体がこだわりのコーヒーを実現するための契機になったんです」と話すのは、代表の大塚朝之さん。実は、前職は俳優で、かつては、オーディションを渡り歩き、苦労の日々を送っ



た。俳優を辞め、友人のコーヒー豆屋で働きはじめると、ふっと肩の荷が降りた。「オーディションでのアピールは苦手。当時は、演じる目的すら見失っていました。でも、コーヒーをお客さまに出すことは苦にならない。人を喜ばせたい気持ちが勝り、自分を偽らなくて済むと思っただけです」猿田彦珈琲で働くスタッフには、共通点があるという。それは、コーヒーで人の幸せを紡ぐこと。味はもちろん、スタッフの気さくな姿勢は、カフェで体験できる新たなホスピタリティともいえる。「一杯のコーヒーに多くの人の誠実な気持ちが込めることで、また足を運んでもらえる店になります。明治神宮のお膝元として、老若男女の方々が来られるこの店だからこそ、お客さまとの間に、サステイナブルな関係性を、現実的にしっかりと築きたいですね」。

### DATA

**猿田彦珈琲 The Bridge 原宿駅店**

住所：東京都渋谷区神宮前

1-18-20 JR原宿駅2F

Tel：03-6721-1908

営業時間：8:00～22:00

(フードL.O.21:30)

※営業時間は

新型コロナウイルス対応により変更の可能性があります。

詳しくはお問い合わせください

定休日：不定休

<https://sarutahiko.co>